

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	18204
----------	-------

1. 開設大学	広島修道大学	開講場所 (キャンパス・施設)	本学
2. 科目名	最近お茶でむせてる人見かけませんか？(嚥下食へのアプローチ)		
	学問分野	番 号	名 称
3. 担当教員	栢下 淳子 (健康科学部 健康栄養学科)		
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 31 年 8 月 7 日 (水) 1 時間目 : 9 時 00 分 ~ 10 時 30 分, 2 時間目 : 10 時 45 分 ~ 12 時 15 分		
個別開講日	1 回目 /	2 回目 /	3 回目 /
	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
	7 回目 /	8 回目 /	9 回目 /
	10 回目 /	11 回目 /	12 回目 /
5. 募集定員	50 人		
6. 科目内容・ 授業計画	<p>日本では高齢化が進み、肺炎で入院する患者さんは増加しています。高齢者の肺炎のうち 7 割を占める「誤嚥性肺炎」は、これからの医療における重要な項目です。脳血管疾患や神経疾患、咽頭・喉頭がんなどの疾患で、「食べる」機能に障害が生じます。お年寄りが食事中によくむせることでもわかるように、加齢によっても嚥下障害が見られます。「食べる」ということは人間の最も基本的な生命維持機能であるだけでなく、食文化としての楽しみ、生きること、健康増進の意味も大きいので、摂食・嚥下障害は生活の質にも大きく関わっています。病院や施設では、言語聴覚士、歯科医師、看護師、医師、歯科衛生士、栄養士、作業療法士、理学療法士など多くの職種が嚥下障害のリハビリテーションを行っています。ここでは、摂食嚥下障害における食事の形態、調理法、栄養補助の市販食品など説明し、チーム医療の大切さを学びます</p> <p>1 時間目は、「摂食嚥下障害とは」として、飲み込みの仕組み、ガイドライン、地域連携例について講義します。</p> <p>2 時間目は、「嚥下障害の食事と調理方法」として、実際に水分にとろみをつけたり、市販食品を試食しながらどのように対処すればよいかを講義します。</p>		
7. 受講料	無料		
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) 無料		
9. 開講条件※1 あり・ない	① 最少開講人数 (人) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日 (7月12日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月13日(土)以降の開講科目は6月末まで)		
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと なし		
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。		

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。